

# 市政のここが聞きたい

議会のホームページから、議会の映像がご覧いただけます。

## 質問項目一覧

(通告順)

- 加藤利江
  - ①高品質堆肥製造センターについて
  - ②シルバー人材センターについて
  - ③景気対策について
  - ④柴崎公園について
- 吉田幸太郎
  - ①生活保護の現状と今後の対応
  - ②(仮称)寄居P AスマートIC
- 清水健一
  - ①「歴史と文化のまちづくり」について
  - ②東京成徳大学深谷中学校開校について
- 清水修
  - ①公園の設置について
  - ②子ども(幼児)の居場所について
  - ③補助金見直し方針について
- 柴崎重雄
  - ①賑わいのまちづくり
  - ②振り込め詐欺
- 馬場茂
  - ①産業祭について
  - ②消防団について
  - ③集会所について
- 中矢寿子
  - ①敬老会の在り方について
  - ②大里広域への在り方について
  - ③花園水辺公園の活用について
- 新井清
  - ①花園ICまちづくりジャンクション構想について
- 清水睦
  - ①今後の同和対策事業について
  - ②基本方針について
  - ③農業政策について
  - ④無認可保育室について
- 五間くみ子
  - ①DV被害防止施策の強化について
- 村川徳浩
  - ①深谷市の商業の現状と今後について
  - ②煉瓦の街づくり条例について
  - ③ふっかちゃんについて
- 倉上由朗
  - ①市長の重点施策について
  - ②市史の編さんについて
- 永田勝彦
  - ①深谷市瀬山市道危険交差点の解消を求める
  - ②深谷市企業誘致の今は
  - ③深谷市都市計画事業武川中央土地区画整理事業地内の朽廃家屋
- 三田部恒明
  - ①LED照明の導入について
  - ②データ放送で市政情報を
- 加藤温子
  - ①市の声、疑問を問う
- 田島信吉
  - ①市政の運営について
- 為谷剛
  - ①地方都市の駅前や中心市街地の再生
- 田嶋均
  - ①深谷市の活性化について
  - ②未収金の回収について

## Q

### 高品質堆肥製造センターについて

## A

#### 利用料金の値上げまたは自己処理施設建設を決める予定

加藤 利江

9月の一般質問以降、組合のかたと話し合いはどのようになっていくのか。

利用者会議では、今後この施設に一般財源の投入はしないとの方針から、9名の利用者で利用料金の値上げにより一般財源の負担を減らすか、自己処理施設を建設するか決める予定である。また、利用者が自己処理施設の建設を希望する場合には、2年後をめどにふん尿の受け入れを中止し、廃止に向けた事務を進めていく。

いのか。

現在のところ、実施予定はない。

この大不況をどのように乗り切るのか。

徹底した無駄と非効率の排除、事業の選択と集中による思い切った事業の見直しを図ることで一層の歳出削減に取り組む。

### 柴崎公園について

柴崎公園の一部を駐車場の拡大に、駐車場の拡大は難しい。

### シルバー人材センターについて

登録は誰でも出来るのか。

登録は60歳以上で深谷市在住のことであれば登録できる。

職種によって時間給は違うのか。

主なもの、一般事務が760円、植木剪定が1100円である。

年齢制限はあるのか。

シルバーの就労に年齢制限はない。

景気対策について

プレミアム商品券は今年もやらないか。



柴崎公園

## Q

### 東京成徳大学深谷中学が開校するが、市の対応は？

## A

#### 教育委員会が窓口となり関係各課と調整し対応していく

清水 健一

公立中学も私立中学も同じ深谷の生徒だが、市主催の行事への参加を、どう考えているのか。

子ども議会など市の行事については関係各課と調整して対応する。

生徒達が幼稚園でのボランティアや農業体験を希望した場合の対応は。

幼稚園は教育委員会が所管しているため対応可能である。農業体験等の要望には関係各課と調整して対応する。

深谷市史編さんに取り組むべきだが

一つの自治体に4冊の市町村史が存在し、その整合性にも疑問がある。一例を挙げると、昭和6年に、この地域で起きた大地震の記述が違っている。特に災害に関しては、後世に真実を伝える責務があると思うが考えは。

市史発行には長い年月を要するので、編さんに向けて研究していく。

歴史まちづくり法の活用は？

市南部には花園インターがあり、東部には農林公園、そして中心市街地、西部から北部にかけては史跡や重要文化財が点在している。この法律は、治水工事から道路整備、空家対策、お祭りの保存継承等にも使える有利な補助制度である。活用して市北部を整備すれば、産業振興にもつながり、市全体の活性化につながる。歴史と文化を活かした、特色あるまちづくりを行う上でも活用すべきと考えるが、市の方針は。

重要文化財の保存整備と併せて、関係各課と調整・研究していく。



重要文化財 旧煉瓦製造施設 ホフマン輪窯内部

## Q

### 生活保護受給者への自立支援対策は？

## A

#### 就労支援員による「就労自立」の指導・援助をしている

よしだ 幸太郎

深谷市における生活保護受給者の現状は？

平成23年度は952世帯で1312人が受給しており、保護費は約20億8000万円となっている。

不正受給の現状とその返還金は？

平成23年度は27件・1360万円の不正受給があり、内容は勤労収入や年金収入等の無申告である。今までの返還対象件数は152件で、そのうち完済されていない金額は約5817万円である。

「就労自立」に向けた支援・指導の現状は？

市の就労支援員の指導により25人が就労を開始し、6世帯が自立した。また、昨年度より県の「生活保護受給者チャレンジ支援事業」のサポートを活用し、17人が就労を開始し、2世帯が自立に至った。さらに今年度より「労・支援事業」の運用も開始。

専門支援員を増やし、多様化する問題に対応していく考えは？

自立支援業務の増加は認識しているが、限られた人員での効率的な運営を検討している。

寄居P AスマートICの進捗は？

深谷市の取り付け道路計画は？

経済性・安全性等を考慮し、概略ルート案を選定した。来年1月中旬に地元説明会を予定している。

道路整備費用・費用対効果は？

費用は4〜7億円。効果は利便性向上と周辺地域の安全性の確保である。

「就労自立」に向けた支援・指導の現状は？

市の就労支援員の指導により25人が就労を開始し、6世帯が自立した。また、昨年度より県の「生活保護受給者チャレンジ支援事業」のサポートを活用し、17人が就労を開始し、2世帯が自立に至った。さらに今年度より「労・支援事業」の運用も開始。



ASUPOINT